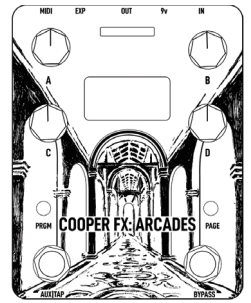


COOPER FX

PASTICHE CARD



1. PITCH - フィードバックループ内にピッチシフターを配置したディレイ。Digitech XP-300 のアルペジエーターモードからモデリングされています。このモードのコントロールは相互に影響し合います。

FBK は通常のフィードバック設定のように動作し、上げるとより急激にピッチバンドが上昇 / 降下します。

PIT はピッチシフターのピッチインターバルを設定します。

DET はピッチシフト量を設定。左に回すとピッチシフトが起きなくなります。右へ回すとピッチシフトを増加します。

2. MULTI - 複数のディレイタップを重ねて構成するマルチタップリバーブ。各タップを独立して設定、様々にマニピュレートできます。

DIFF はディフュージョン、残響の滲み具合を設定します。左に回すとマルチタップディレイを強調し、右に回すとタップを滲ませます。

DROP はランダムにタップをミュートし、リバーブから出力されるシグナルを欠けさせます。

TAPS は各タップのレベルを調整します。左回しきりで 1 つのタップのみ、右に回すとタップが増えていきます。

3. Vinyl - 埃を被って音飛びしてしまう、誰もが愛するオールドレコードの音像を再現。

RPM はピッチ揺れのスピード、DPTH は揺れの深さを設定します。このレートはタップテンポでも設定可能です。

AGE はフィルタリングとサチュレーション量を調整します。

NOISE はランダムなクリックサウンドとヒスノイズを設定し、レコードならではのサウンド再現を後押しします。

4. Arp - 幅広い設定が可能な 2 ステップのアルペジエーター。

SPD はアルペジエーターのスピードを設定します。タップテンポでも設定可能です。

アルペジエーターの各ステップのピッチは P-1 と P-2 で設定。

PORT は 2 つのステップを滑らかにつなげるポルタメントを有効にします。

5. VHSDLY - VHS のローファイな音像にインスパイアされたディレイ。

TIME と FBK は一般的なコントロールと同様、ディレイタイムとフィードバック量を設定します。

LPF はリピート音へ適用されるローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。左回しでリピート音がよりダークに濁っていきます。

NOIS はディレイテイルに適用されるランダムなテープ変調とヒスノイズの量を設定します。

6. Mono - クラシックで攻撃的なモノシンセサウンド。

多くのビンテージシンセのように、ドリフト、または 2 つのオシレーターへのデチューンを DET で設定できます。これにより分厚く、コーラスのような揺らぎを加えられます。

RES はフィルターのレゾナンスを設定します。右に回していくとアグレッシブなサウンドに。

OCT はオシレーターのルートノートを設定します。

7. Revrse - ユニークなひねりが加えられたリバースディレイ。

FBK でデジタルディレイのようにサウンドをフリーズさせることができます。

リバースされたリピートのプレイバック速度とピッチは、RPIT でクオンタイズして設定します。

DIR で通常の順方向ディレイサウンドをリバース音へブレンドします。2 つの方向を行き交う興味深いハーモニーを演出できます。

8. Timest - グラニューラタイムストレッチ、ピッチを保ったままプレイバック方向とスピードを変更。ランダムプレイバックも備えます。

SPD はタイムストレッチの再生方向とスピードを設定します。

RAND を上げると、バッファ内でランダムなジャンプを有効にします。